

しかべっ子学習支援事業 「しかべ学び場」

鹿部町教育委員会 子ども教育課

しかべっ子学習支援事業 『しかべ「学び場」』実施要項

1 目的

- (1) 児童生徒の自主的・主体的に学習に取り組む基礎を培い、その習慣を助長するとともに、基礎学力の定着を図る。
- (2) ICT機器の活用を積極的に行い、情報活用能力の向上を図る。

2 対 象

鹿部町立学校に在籍する小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒のうち、事前に登録を済ませた児童生徒とする。

3 定 員

特に設けない

4 参加費

無料

5 教科

英語、算数・数学 2教科

6 実施場所

鹿部中央公民館和室研修室 など

7 実施時間

1部 午後4時から午後5時30分まで

2部 午後7時から午後8時30分まで

※長期休業期間は時間を午前中に変更する場合があります

8 実施曜日 (児童生徒の登録状況等によって、曜日、内容等が変更となる場合があります)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 部	16:00 ~ 17:30	小5 英語 小6 算数	小学生 自習 英語/算数	小学生 面談/自習 英語/算数	小5 算数 小6 英語	小学生 自習 英語/算数
2 部	18:45 ~ 20:15	中1 数学 中2 英語	中3 数学 中1・2 英語自習	中3 自習 英語/数学 中学生 面談	中1 英語 中2 数学	中3 英語 中1・2 数学自習

9 使用教材 教科書、ワーク、GIGAパソコン(AIドリル)など

1、実施の背景

(1) 予測困難な時代に必要な力

～ 新・学習指導要領の完全実施 ～

- ① 社会の変化に主体的に関わる資質・能力
- ② 他者と協力して課題を解決していく力
- ③ コミュニケーション能力

(2) 情報化・デジタル社会の到来

～ GIGAスクール構想の実現 ～

- ① 「学び」の時代～Society5.0に向けた人材育成
- ② 学習の基盤となる「情報活用能力」の育成
- ③ ICTを活用した「個別最適な学び」

(3) 「しかべっ子」の実態

～ 学力学習状況調査の結果から ～

- ① 真面目で意欲的な授業態度
- ② 身につかない家庭学習の習慣
- ③ 受け身な姿勢

(4) 特色ある教育施策

～ 幼小中連携による教育活動の充実 ～

- ① 12年間を見通した教育
- ② 町研組織を基盤とした連携による教育
- ③ 子ども理解の一貫性

2、 基本理念

町の理念

生まれ育ったふるさとに愛着と誇りをもち、
共に支え合い、たくましく生きるしかべっ子の育成

教室の理念

自ら学び 自らの可能性を広げる場

育てたい3つの力

自ら学ぶ力

ねばり強さ

汎用的能力

※ 汎用的能力 = 身に付けたスキル等を社会で広く用いることができる力

3、教室のコンセプト

基本理念を実現するために、3つのコンセプトを運営の中心に据えます。

自学自習

- ◆ 計画的に学習に取り組む基礎を培う。
- ◆ 自主的に学習に取り組める場を提供する。
- ◆ 家庭学習習慣を身に付けるサポート。

個別サポート

- ◆ 一人一人に寄り添い、多様な学びをサポート。
- ◆ 「個別最適な学び」を保障。
- ◆ 個に応じた「処方箋」による具体的な手立て。

21世紀型スキル

- ◆ 時代に対応した個人の資質能力の育成。
 - ・課題解決能力
 - ・コミュニケーション能力
 - ・情報活用能力
- ◆ ICTを活用したAL型の学習。

4、学習支援サポーターの組織と役割

教室運営会議

教育委員会(指導主事)
＋
学習支援サポーター(2名)

- ◆ 月に一度のミーティング
- ◆ ミーティングの内容
 - ・翌月の予定表の作成
 - ・情報交流
 - ・個別の支援計画(個の処方箋)の見直し
 - ・運営評価

学習支援サポーターの役割

- ◆ 教室での行動指標
 - ・寄り添う
 - ・引き出す
 - ・サポートする
 - ・アドバイスする
 - ・提案する
 - ・教える(必要に応じて)
- ◆ 予定表の作成
- ◆ 個別の支援計画(個の処方箋)の作成
- ◆ 個別の課題・教材の準備 等

5、「自学自習」の具体

学習は課題を持ち込むことから始まる。

自分で持ち込む

自学自習

課題を忘れる

自分で設定できない

◆サポートスタッフによる適切なアドバイス

◆個に応じた課題の提供



6、「個別サポート」の具体

子ども理解

- ◆ 実力判定テストの実施
- ◆ 子どもとの面談
- ◆ 保護者面談
- ◆ 小・中との情報交流
(必要に応じて)
- ◆ 教室運営会議で交流

個の処方箋

- ◆ 個別の支援計画
(個の処方箋)
- ◆ 教室運営会議にて調整

個別最適な学び

- ◆ 個別の支援計画に基づいた「学びのサポート」
- ◆ 学習の個性化
- ◆ 指導の個別化
- ◆ 補充的な学習・発展的な学習
- ◆ ICT機器の有効活用

